

正解は以下のようになります。

	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	700						700	
借入金		300						300
資本金		200						200
売上		1600				1600		
仕入	1100				1100			
給料	300				300			
	2100	2100						
当期純利益					200			200
					1600	1600	700	700

簿記の初学者が精算表の作成でつまづきやすい箇所が2点あります。

一点目は、残高試算表へ記入した後にその数字を貸借対照表の方へ移動するのか、損益計算書の方へ移動するのかという点です。これはばかりは、覚えていくしか対処の方法がありません。勘定科目ごとに、「現金」なら資産なので貸借対照表、「借入金」なら負債なので貸借対照表、「売上」なら収益なので損益計算書」というふうに覚えていくしかありません。どの簿記3級で必要な勘定科目の一覧は、基本講座で解説します。

2点目は利益の計算をすることです。貸借対照表での借方合計と貸方合計は必ず一致します。(損益計算書でも同様のことが言えます。)利益はそこから逆算しますので、精算表では一番最後に埋まります。この例で説明すれば、貸借対照表だと借方合計の700から貸方合計の500を引いて計算します。損益計算書からだともまず貸方合計の1600から仕入と給料の合計1400を引きます。貸借対照表で計算した利益と損益計算書で計算した利益が一致すれば、ほぼ、間違っではないでしょう。

【STEP 5 貸借対照表の作成】(基礎講座7での学習項目)

精算表を作成すると最後に決算書を作成します。決算書には貸借対照表と損益計算書がありますが、ここでは、貸借対照表を作成してみましょう。貸借対照表の作成は、精算表の貸借対照表欄を抜いて記入すれば完成しますので、それほど問題はないと思います。

貸借対照表

えーかわ商店 平成 年 1 2 月 3 1 日 (単位:円)

資産	金額	負債及資本	金額
現金		借入金	
		資本金	
		当期利益	

正解は以下のようになります。

貸借対照表

えーかわ商店 平成 年 1 2 月 3 1 日 (単位:円)

資産	金額	負債及資本	金額
現金	700	借入金	300
		資本金	200
		当期利益	200
	700		700

【STEP 6 損益計算書の作成】(基礎講座8での学習項目)

同様に損益計算書を作成してみましょう。

損益計算書

自 平成 年 1 月 1 日
至 平成 年 1 2 月 3 1 日

えーかわ商店 (単位:円)

費用	金額	収益	金額

正解は以下のようになります。

損益計算書

自 平成 年 1 月 1 日
至 平成 年 1 2 月 3 1 日

えーかわ商店 (単位:円)

費用	金額	収益	金額
仕入	1,100	売上	1,600
給料	300		
当期利益	200		
	1,600		1,600

これで一連の取引から決算書の作成までが完成したことになります。

この基本講座では、一連の流れを理解することを目標に作成していますので、詳しく説明すると、簿記試験の内容では異なる箇所もありますが、大まかな流れはつかめたのではないのでしょうか?ここまでの学習内容が理解出来たら後はしめたものです。より、実戦に近い内容を学習していけばいいだけです。実戦的な内容は、次の本科講座で学習します。